

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R7(2025).2.21

No.18

豊岡市のホームページにもアップしています。

豊岡市HP→上段「暮らし」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ

令和6年度学力向上シンポジウム①～学力向上とは～

○テーマ 「個別最適な学びと協働的な学びの充実～主体的に課題を解決する力の育成に向けて～」

○とき 1月31日(金)13:10～ ○会場 アクリエひめじ(大ホール)

※詳細は、**県教委義務教育課のHPをご参照ください!**

講演 **子どもたちの生きる未来の姿から「学力」向上を考える** ※記載内容は一部です

文部科学省初等中等教育局教育課程課 学校教育官 岩岡 寛人 氏

テーマ! 「学力向上」のとらえ

- 1 「生きる力」…将来の社会のあり方に応じて変わりうるもの
- 2 Society5.0…子どもたちの時代。どんな時代?どうして変化が速くなっていくの?
Society5.0を生み出すテクノロジー…①AI・ビッグデータ(頭脳の限界を超える)
②ロボティクス(身体限界を超える)
③高速インターネット(空間の限界を超える)
- 3 AIやロボティクスにできないこと…未来の社会をよりよく考えたり、答えのない問いについてチームで対話をしながら納得解を生み出したり、そのために何を、どのように学習すればよいかを決めたりする。また、AIが出したもっともらしい「答え」が正しいか判断する。→**資質・能力中心の学び**
- 4 「情報」=「知識」ではない…AIやキカイは大量の情報を出せるが「意味」「目的」は人間が与えるもの
「情報を覚える」学びから「意味を理解して使いこなす」学びへ
【例】**情報**:一次関数の解き方やグラフの解き方を覚えている。
意味:知らない数字があっても、一緒に変化する別の数学との関係が分かれば予想できるんだよね。
特に直線的に変わる数字だったら、一次関数を使って予想できるよね。
使いこなす:毎月3500円貯めると決めた時の将来の貯金額をエクセルで整理できる。
- 5 「意味」は先生や教科書に与えられるものではなく一人一人の頭の中で創られるもの。
自分で主体的につかんでいかないと得られない。

◎すべての子どもに、「資質・能力」の育成を保障していく。

→そのための仕組みや方法を考えることを「学力向上」と言いたい。

「学びのデジタルガイド」って?

★令和6年度全国学力・学習状況調査の結果分析を踏まえ、「学びのデジタルガイド」(「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教科特有の「見方・考え方」を働かせる授業改善の指導事例集)に事例を追加しています。取り上げた事例の学びと日常生活を結びつける児童生徒向け「学びのデジタルガイドプラス」にも事例を追加しています。

★二次元コードからダウンロードし、先生方は指導力向上に、児童生徒のみなさんは学力向上にぜひお役立てください。

